

# 哲學研究

第貳卷 第一冊

第十號

大正六年一月一日發行

セザンヌ……………	文學士	植田壽藏
美學の基礎に就ての考察……………	文學博士	深田康算
探究の態度と安立の態度……………	文學博士	姉崎正治
自覺に於ける直觀と反省(承前)……………	文學博士	西田幾多郎
琉球過去の文化と教育……………		平内房次郎
彙報……………		
新著紹介……………		

京都帝國大學文學科大學內

京都哲學會

## 京都哲學會規則

第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス

第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、毎月一回研究會ヲ開ク

一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク

一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス

第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ置ク

第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク

一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會

ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス

第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得

學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スル

コトヲ得

第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓貳拾錢、前後二期ニ分チテ前納ス

ベキモノトス

第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲

學研究』ノ配付ヲ受ク

第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學博士 西田 幾多郎

文學博士 朝永 三十郎

文學士 千葉 胤成

文學博士 狩野 直喜

文學博士 米田 庄太郎

文學博士 高瀬 武次郎

文學士 中川 得立

文學士 植田 壽藏

文學士 野上 俊夫

文學博士 松本文三郎

文學士 深田 武

文學博士 深田 康算

文學博士 藤井 健治郎

文學博士 小西 重直

寶嚴 方治

### 書記

もの、ウォードの社會學界に於ける地位は今更説くまでもなく、デイーレーはまた約説者として其人を得て居ると云ふ事が出来やう。生物學的知識に根柢を置けるウォードの社會學の大體を知りたいと云ふ人には、最も恰好の書である。今藤森氏の手に譯せられて邦語によりて其内容に接するを得るに至つた事は誠に喜ばしい事である。たゞ譯文が少し碎けてゐて平明であつたならばと思ふ。少くとも初學の人にとりては難解の感を免れざる事を遺憾とせざるを得ない。定價一圓五十錢、東京神田中猿樂町一、巖松堂書店發行（高田保馬）。

### 靈魂信仰と祖先崇拜

文學士 桑田 芳藏著

日本に於ける心理學上の獨創的研究を集成するために刊行された『心理叢書』の第一冊である。靈魂の信仰と祖先崇拜につきては數十年前から宗教起源論又は社會進化論の立場から、或は文化史的に或は人類學的に研究され、其具體的記述並に説明は既に數多く公けにせられて居るが、是等現象の內面的動機を純粹心理學的に考察することはヴント氏意外に餘り多く企てられて居ない、殊に東洋に於ける最も發達した形式に此方法を以て研究したものは全くないのである。本書は此要求に應じて公けにせられたものと思はれる。著者は此民族心理學の立脚地を嚴守して、一切の價值論を離れて純科學的觀察を爲されて居る。

内容は四篇に分たれ、第一篇に靈魂信仰が來いかにして生じしやを觀察し。第二篇にトイテミズムの性質と起源とを論じて、動物祖先が人間先祖の前階を成すことを知らしめ、第三に靈魂信仰

に自然に作り起るべき他界表象を研究し、最後に第四篇に祖先崇拜の起源と發展とを説述され、尙餘論として祖先崇拜の運命につきて一言せられて居る。

論の結構はヴント氏に依つて出發せられたのであらうけれども、行論悉く根本資料と參照し、師の説を補充改訂された點が甚だ多い。論斷穩健極めて平明に、然も飽くまで眞學な科學者の態度を保持されて居る。本書に引用された著述の多くは千頁以上数千頁に及ぶ廣幹なものであるのに、僅々百七十頁の内に要領を悉く包攝されたのは非常な功績と云はねばならん。東京市外上駒込一二〇心理學研究會出版。定價七十五錢。（石神徳門）

### 寄贈書籍雜誌

- |           |  |          |
|-----------|--|----------|
| 生命の一路     | 昨上賢造著  | 洛陽       |
| 我等何を信すべき乎 | トルストイ著<br>加藤一夫譯  | 同        |
| ハインツ評傳    | 文學士 藤浪由之著  | 同        |
| 靈魂信仰と祖先崇拜 | 文學士 桑田芳藏著  | 心理研究會出版部 |
| 現代批判第二輯   | 箱垣末松外三氏著   |          |
| 哲學雜誌      | 心理研究、丁酉倫理會講演集、東洋哲學、六合雜誌、東亞之光、神學之研究、早稻田文學、教育、普通教育、教育研究、東京教育、奈良縣教育、岐阜縣教育、三重教育、長崎縣教育雜誌、愛媛教育、信濃教育、佐賀縣教育、藝備教育、宮城教育、静岡縣教育、大崎學報、黒潮教育學術界、教育界、學校教育、第三帝國 |          |

# 會 告

一、本誌は年次と巻數とを一致せしめんが爲め前號を以て第一卷の終結とし、本號より卷を改むる事とせり。

一、前號附録會員名簿中には多少の誤謬なきを保せず、御氣付の會員諸君は御手数ながら御一報を請ふ。

# 前 號 目 次

社會學的認識論……………	米田庄太郎
女子の使命に就いて……………	文學士 野田義夫
自覺に於ける直觀と反省……………	文學博士 西田幾多郎
藝術的活動の本質……………	文學士 中川得立
彙報 新著紹介	

告 會

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候  
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候  
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 文科大學内  
 振替口座大阪參〇六六參番  
**京都哲學會**

價 定

冊	數	定	價	郵	稅
一	冊	金	貳拾	錢	壹
六	冊(前金)	金	壹圓貳拾	錢	不
十二	冊(前金)	金	貳圓四拾	錢	不

廣 告 料

一頁 金拾圓 半頁 金六圓

定 規 文 註

◎會員にあらざる譯讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候  
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候  
 ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候  
 ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候  
 ◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候  
 ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正五年十二月二十八日印刷納本  
 大正六年一月一日發行

第十號 第貳卷  
 第壹册

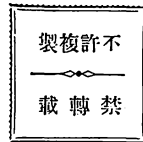
編輯者 京都帝國大學文科大學内  
 京都哲學會

右代表者 寶嚴方治

發行者 大葉久吉

印刷者 青柳十一郎

印刷所 秀英舍第一工場



發行所 東京日本橋區本石町三丁目  
 (振替口座東京二八〇番) **寶文館**

發賣元 東京市日本橋區本石町三丁目  
 大阪市東區淡路町四丁目 **寶文館**

賣捌所 (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
 良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館  
 (京都) 寶文館 (神戸) 寶文館